

A member of
Deutsche Bank Group



DWS ブラジル・リアル債券ファンド (毎月分配型)

追加型投信 / 海外 / 債券

ブラジルの実りをあなたの資産へ

●トウッカーノ(和名オニオオハシ)：中央アメリカから南アメリカの熱帯雨林に生息し、目の周りの縁取りと、カラフルで大きなくちばしが特徴的。「アマソンの空飛ぶ宝石」とも呼ばれる。



《当資料は目論見書ではありません。》

お申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

フィリップ証券株式会社

本店：東京都中央区日本橋兜町4番2号 TEL：03-3666-2101
足利支店：栃木県足利市田中町32番地10 TEL：0284-73-1191
商号等：フィリップ証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号
加入協会：日本証券業協会 / 社団法人 金融先物取引業協会

■設定・運用は

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

商号等：ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号
加入協会：社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会



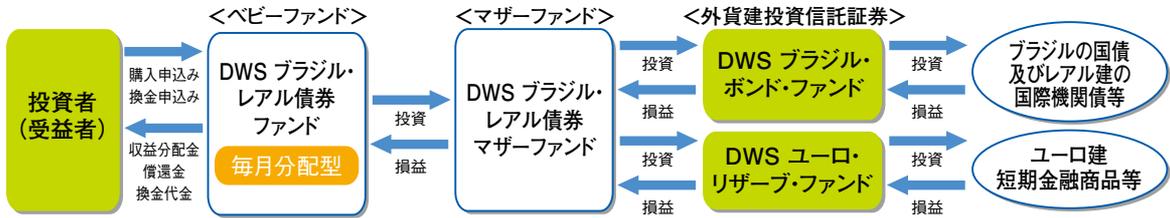
ファンドの特色

当ファンドは、インカム・ゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

1 主にブラジル・リアル建の債券等に投資します。

▶▶ 投資する債券等はブラジル国債及び国際機関等が発行する債券等とします。

※当ファンドは、DWS ブラジル・リアル債券マザーファンドへの投資を通じて、主にDWS ブラジル・債券・ファンド(ルクセンブルグ籍外国投資信託)に投資するファンド・オブ・ファンズです。



2 ドイツ・アセット・マネジメント・グループのDWSインベストメントGmbHが運用を行います。

※DWSインベストメントGmbHはDWSの一員です。DWSはドイツ・アセット・マネジメント・グループのリテールビジネスを担う投資信託会社グループです。詳しくは、後記「DWSの概要」をご参照下さい。

3 外貨建資産へ投資します。対円での為替ヘッジを行いませんので為替変動リスクがあります。

(注)市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。



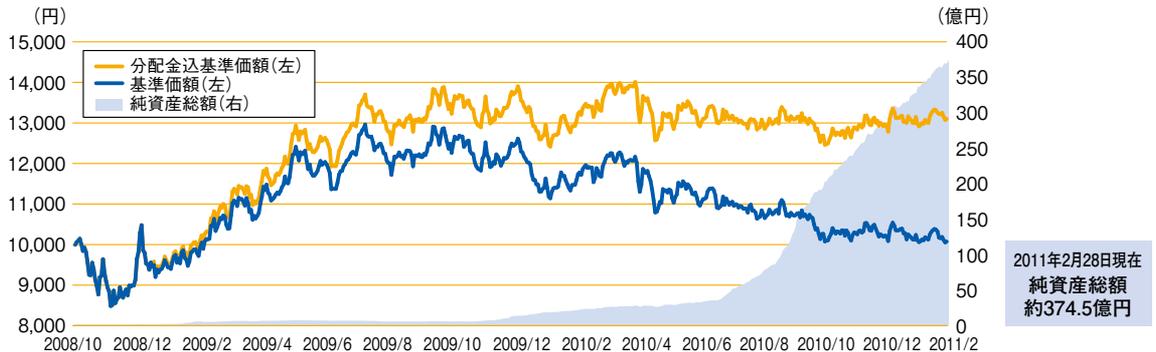
毎月の決算時(原則として毎月20日。当該日が休業日の場合は翌営業日。)に収益分配方針に基づいて収益分配を行います。

※分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

▶▶ 分配金のイメージ図



▶▶ 設定来の基準価額の推移 2008年10月31日(設定日)～2011年2月28日



※分配金込基準価額は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しております。
※基準価額の推移は、信託報酬控除後の価額を表示しております。

▶▶ 分配金実績の推移(税引前、1万口当たり)

決算期	第1期-第10期	第11期-第21期	第22期	第23期	第24期	第25期	第26期	設定来累計	分配金実績(税引前、1万口当たり)
	2009/01-2009/10	2009/11-2010/09	2010/10	2010/11	2010/12	2011/01	2011/02	2,930円	2011年2月 130円
分配実績	85円	130円	130円	130円	130円	130円	130円		
基準価額(決算日)	-	-	10,502円	10,294円	10,306円	10,134円	10,174円	-	

※分配金の実績は、将来の分配金の水準を保証もしくは示唆するものではありません。
※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは支払われない場合があります。

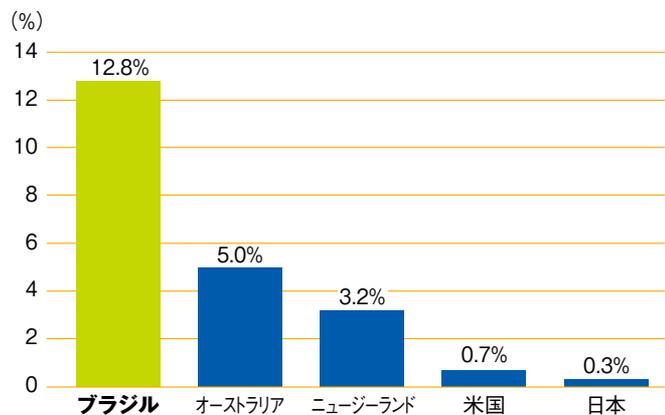


ブラジル債券の魅力

1. 相対的に高い金利水準

▶▶ 主要国の金利水準と比べ、ブラジルの金利水準は相対的に高い水準になっています。

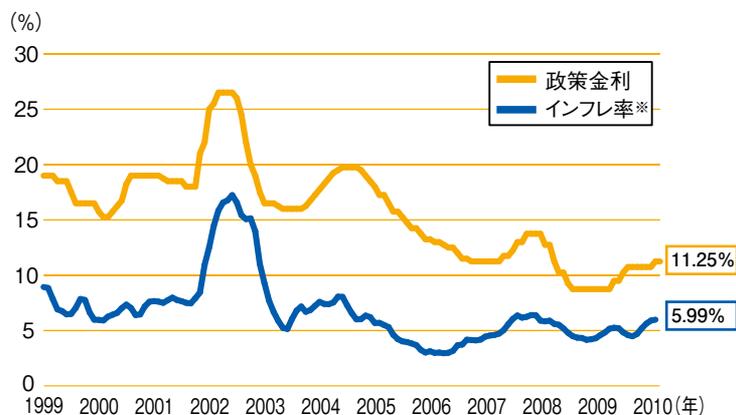
■ 主要国との金利比較 (国債 [残存期間2年])



出所: Bloomberg 2011年2月末現在
※ニュージーランドは1年債と3年債の平均値

▶▶ 良好な財政状況を背景に規律ある金融政策が実行されています。その結果、実質金利はプラスとなっています。

■ ブラジルの政策金利とインフレ率の推移

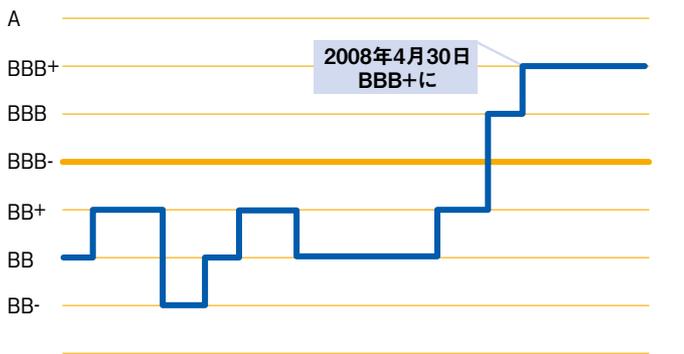


出所: Bloomberg 2011年2月末現在
※インフレ率は2011年1月末現在

2. 信用力の改善

▶▶ ブラジルの国債格付はBBB+となっています。格付の上昇は債券価値の上昇要因となります。

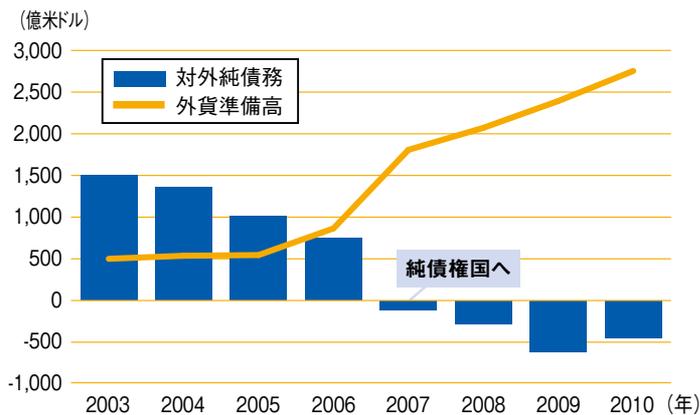
■ ブラジル国債の格付 (自国通貨建て長期債)



出所: スタンダード・アンド・プアーズ (S&P) 2011年2月末現在
2008年4月30日 BBB+に

▶▶ 2007年以降ブラジルは純債権国に転じ、このことが信用力の改善要因の1つとなっています。

■ ブラジルの対外純債務と外貨準備高

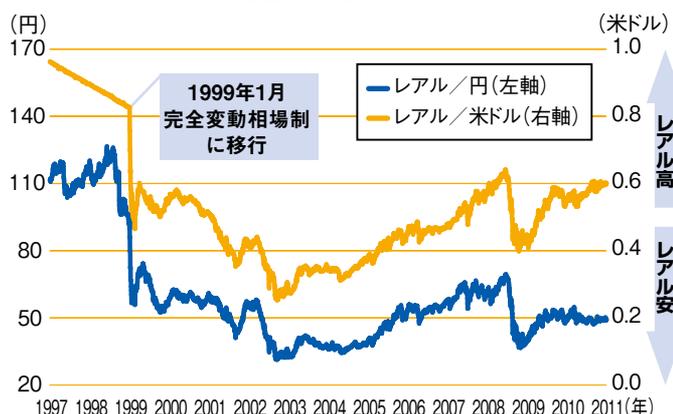


出所: ブラジル中央銀行 2011年2月末現在
※2010年については9月末現在

3. 通貨の上昇期待

▶▶ 昨今の経済成長や高い金利水準が、需給面でのレアル上昇の下支え要因として期待されます。

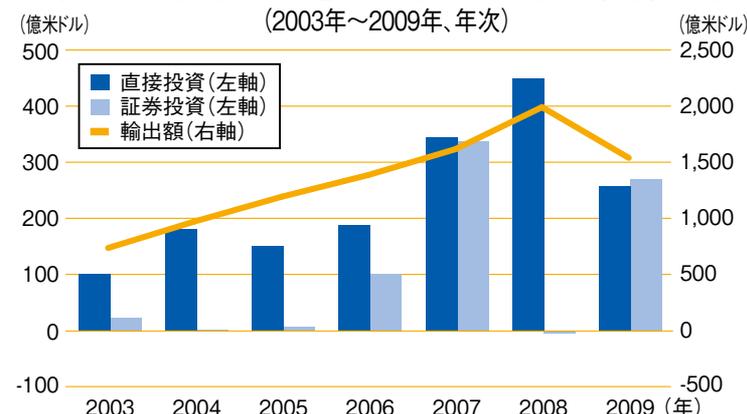
■ ブラジル・レアルの為替の推移



出所: Bloomberg 2011年2月末現在
1999年1月 完全変動相場制に移行

▶▶ 海外からの投資額と輸出額の伸びが、ブラジル・レアルの通貨価値を押し上げる要因として期待されます。

■ 海外からの直接投資*および証券投資*とブラジルの輸出額 (累積) の推移



出所: 直接投資についてはBanco Central do Brasil (ブラジル中央銀行)、輸出額 (累積) についてはBloomberg。証券投資についてはBloombergのデータを基にドイチェアセット・マネジメント (株) が作成
※ネット・ベース

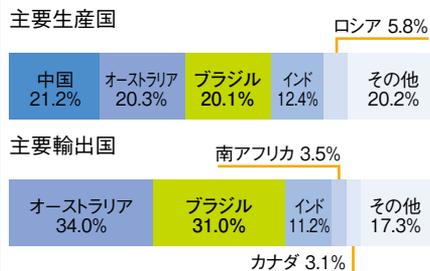
ブラジル経済の強み

ブラジル経済の強みとして、「資源」、「農産物」を保有し、かつ「製造業」も発達していることが挙げられます。バランスのとれた輸出構造が、ブラジルの経済成長の原動力となり、内需拡大、インフラ投資の増大へとつながっています。

資源

ブラジルは鉄鉱石の生産、輸出とも世界のトップクラスです。

■鉄鉱石の主要生産国及び輸出国(2008年)

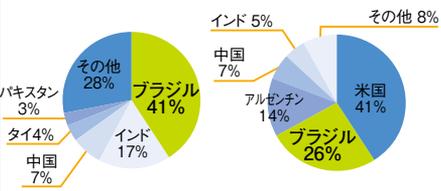


また、近年原油の自給率が100%近くに達しました。深海油田開発等を背景に、今後の原油生産量の増加が期待されます。

農産物

世界の農産物の生産量においても上位を占めています。

■サトウキビの生産量 :世界第1位
■大豆の生産量 :世界第2位

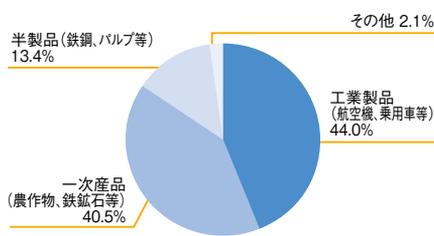


その他農産物の生産量は、コーヒー豆は世界第1位、とうもろこし・肉類・果実は世界第3位。

製造業

製造業が発達しています。

■輸出品目の内訳(2009年)



代表的な製品例は、小型航空機(エンブラエル社など)及びエタノール自動車など。

出所: World Steel Association, Steel Statistical Yearbook 2009

出所: FAOSTAT/Production データは2009年
注)一部に非公式、FAOによる推計値を含む

出所: JETRO

*端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

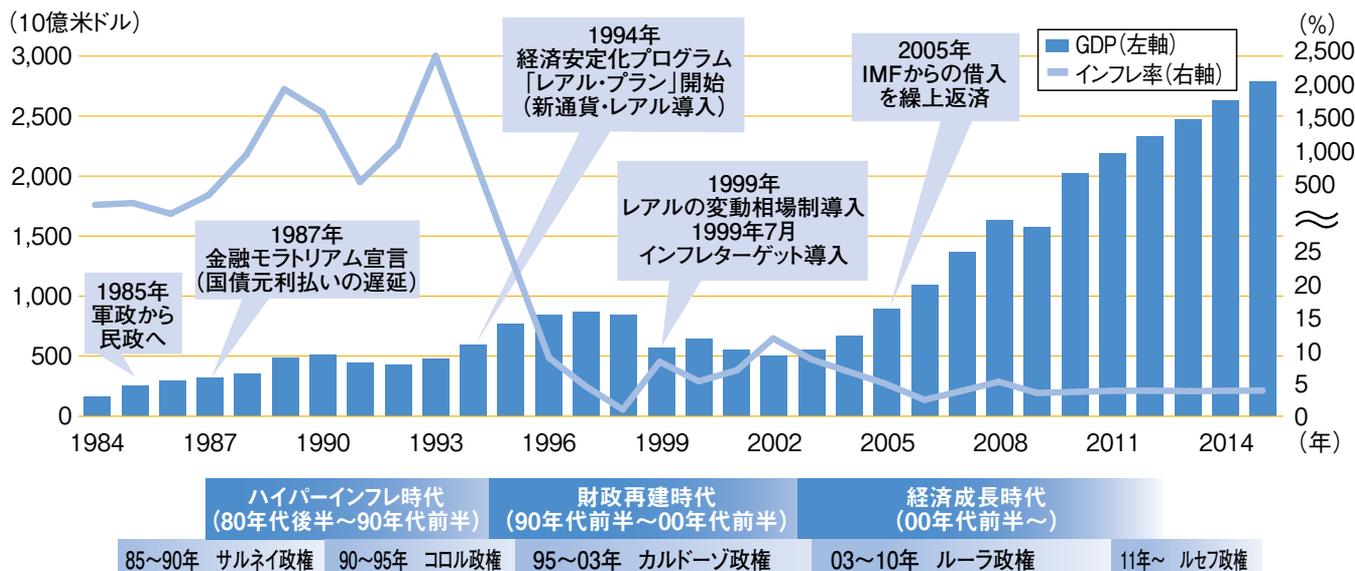


個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。また、ファンドへの組入れを示唆するものではありません。

安定成長し始めたブラジル経済

ブラジルは、過去ハイパーインフレ時代や厳しい財政再建時代を経験しました。その結果、現在財政規律を取り戻し、物価も落ち着いた状況下、本格的な経済成長路線を歩み始めています。

■ブラジルの政権、経済史とGDPの推移(1984年～2015年(2010年～2015年は予想))



●ハイパーインフレ時代(80年代後半～90年代前半)
80年代後半、多重債務国であったブラジルは、貨幣を過剰に発行した結果、一時は約2,500%ものハイパーインフレを引き起こした時代を経験しました。

●財政再建時代(90年代前半～00年代前半)
94年にレアルプランを導入、新通貨レアル採用、財政改革(国営企業の民営化等)を通じて、インフレ率の低下に成功しました。99年には為替の完全変動相場制導入へと至りました。

●経済成長時代(00年代前半～)
プライマリーバランスも黒字化、05年にはIMFからの借入れも完済、07年*には格付が投資適格となる等、信用力の改善を背景に安定した経済成長時代へと至っています。
*自国通貨建て長期債
出所:スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)

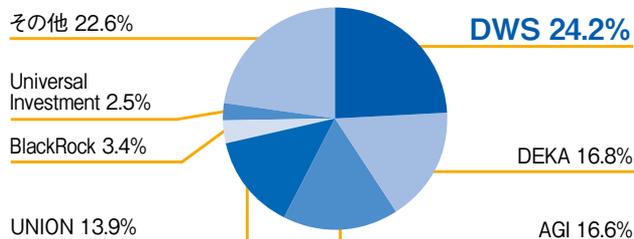
出所: IMF World Economic Outlook October 2010 等を基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)が作成

データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

DWSの概要

- DWS(ディー・ダブリュー・エス)とは、“有価証券の専門家”を意味するドイツ語Die Wertpapier Spezialisten(ディ ヴェルトパヒア スペチアリステン)を略したものです。
- DWSはドイツ・アセット・マネジメント・グループのリテールビジネスを担う投資信託会社グループです。

ドイツの投資信託運用会社 —運用資産残高でDWSが首位—



端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。
出所:ドイツ投資信託協会(BVI)、2010年11月末現在
DWSを含めたドイツ銀行グループの運用資産残高ベース(外国籍ファンドを含む)

ドイツ銀行グループの概要

- 1870年(明治3年)、ベルリンに設立
- 総資産約1兆9,060億ユーロ(約207兆7,540億円)*1
にのぼるグローバルな総合金融機関
- 世界74カ国に3,083支店を設け、総従業員数は
10万2,062人にのぼる
- 格付: Aa3(ムーディーズ・インベスターズ・サービス)
A+(スタンダード&プアーズ)
AA-(フィッチ)
- 1911年(明治44年)、ブラジルに拠点を設立
- 360人*2の従業員がブラジルのサンパウロ・オフィス
に勤務

特に注記がない場合はすべて2010年12月末現在
*1 換算レート:1ユーロ=109円/億円未満切捨て
*2 2011年2月末現在

投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。基準価額の変動要因は、以下に限定されません。

①金利変動リスク

債券価格は、通常、金利が上昇した場合には下落傾向となり、金利が低下した場合には上昇傾向となります。したがって、金利が上昇した場合には、保有している債券の価格は下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の債券等の価格は、こうした金利変動や投資環境の変化等の影響を大きく受け、短期間に大幅に変動する可能性があります。

②信用リスク

債券価格は、発行者の信用状況等の悪化により、下落することがあります。特に、デフォルト(債務不履行)が生じた場合または予想される場合には、当該債券の価格は大きく下落(価格がゼロとなることもあります。)し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の債券等の格付の低い債券は、格付の高い債券と比較して、一般的に信用度が低く、発行者の信用状況等の変化により短期間に価格が大きく変動する可能性やデフォルトの可能性が高いと考えられます。

③為替変動リスク

外貨建資産の価格は、為替レートの変動の影響を受けます。外貨建資産の価格は、通常、為替レートが円安になれば上昇しますが、円高になれば下落します。したがって、為替レートが円高になれば外貨建資産の価格が下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国の通貨については、政治、経済情勢の変化等による為替相場の変動がより大きくなる可能性があります。

④カントリーリスク

投資対象国の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合などには、有価証券等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。特に、新興国への投資については、一般的に先進諸国への投資に比べカントリーリスクが高くなります。

⑤流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

その他の留意点

- ブラジル国内の債券投資については金融取引税が課される場合があります。金融取引税が課された場合は基準価額に影響を与える可能性があります。当該影響は税率等によって異なります。税率は関係法令等の改正により変更される場合があります。金融取引税の税率については委託会社ホームページの月次報告書等をご覧ください。
- 分配金は純資産総額から支払われるため、分配金支払い後は純資産総額が減少し、基準価額が下落する要因となります。分配金は計算期間中に得られた収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は必ずしも当該計算期間における運用成果等を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、支払われた分配金を実質的には元本の払い戻しとなる場合があります。
- 当ファンドの資産規模に対して大量の購入申込み(ファンドへの資金流入)または大量の換金申込み(ファンドからの資金流出)があった場合、基準価額の変動が市場動向と大きく異なる可能性があります。また、マザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドの購入申込みまたは換金申込み等により、当該マザーファンドにおいて売買が生じた場合等には、当ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

手続・手数料等

お申込みについて

購入の受付	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに購入申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。 ただし、サンパウロ証券取引所の休業日、フランクフルトの銀行休業日、ルクセンブルグの銀行休業日、サンパウロの銀行休業日には、受付は行いません。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入単位	<毎月分配型>販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。

信託期間中について

信託期間	信託設定日(平成20年10月31日)から平成30年7月20日まで ただし、残存口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託を終了させていただくことがあります。
決算日	<毎月分配型>原則として毎月20日とします。 ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づいて行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

ご換金(解約)について

換金の受付	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに換金申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。 ただし、サンパウロ証券取引所の休業日、フランクフルトの銀行休業日、ルクセンブルグの銀行休業日、サンパウロの銀行休業日には、受付は行いません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額
換金単位	<毎月分配型>販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。
換金代金支払日	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。 ※受益権の買取りによる換金については、販売会社にお問合せ下さい。

課税関係

課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。
原則として、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して課税されます。
(注)法人受益者の場合は税制が異なります。税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。

投資者の皆様が負担する費用

時期	項目	費用
----	----	----

<直接ご負担いただく費用>

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に3.675%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額
換金(解約)時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額

<ファンドで間接的にご負担いただく費用>

毎日	a.運用管理費用(信託報酬)	信託財産の純資産総額に対し年率1.2495%(税抜1.19%)
	b.マザーファンドの組入投資信託証券の運用管理費用(信託報酬)相当額	当該組入投資信託証券の純資産総額に対し実質年率0.50%以内
	c.実質的な運用管理費用(信託報酬)(a+bの合計)	年率1.7495%程度(税込)

※この他に、純資産総額に対して年率0.10%を上限として諸費用(監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用等を含みます。)が信託財産から差し引かれます。また、当ファンド及び投資対象ファンドにおける組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、租税(ブラジル市場における金融取引税を含みます。)等についても、別途信託財産が負担します。当該費用については、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。なお、投資者の皆様が負担する費用等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ブラジル国内の債券投資については、非居住者に対して金融取引税が課されます。ただし、関係法令等の改正により変更される場合があります。

※収益分配金の再投資の際には購入時手数料はかかりません。

※「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。

委託会社、その他の関係法人

販売会社	当ファンドの募集の取扱い等を行います。投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社にて行います。販売会社につきましては、委託会社にお問合せ下さい。
委託会社	ドイツ・アセット・マネジメント株式会社 信託財産の運用指図等を行います。 ホームページアドレス http://www.damj.co.jp/ フリーダイヤル 0120-442-785(受付時間:営業日の午前9時から午後5時まで)
受託会社	株式会社りそな銀行(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社) 信託財産の保管・管理等を行います。 なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。

投資信託のお申込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はおお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。

- 当資料は、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。
- 当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。
- 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。
- 投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- 登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。